

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年3月15日 (2012.3.15)

【公開番号】特開2010-180306(P2010-180306A)

【公開日】平成22年8月19日 (2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2009-23995(P2009-23995)

【国際特許分類】

C 0 8 F 290/12 (2006.01)

C 0 9 D 151/06 (2006.01)

C 0 9 D 4/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/14 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 290/12

C 0 9 D 151/06

C 0 9 D 4/02

C 0 9 D 133/14

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月1日 (2012.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

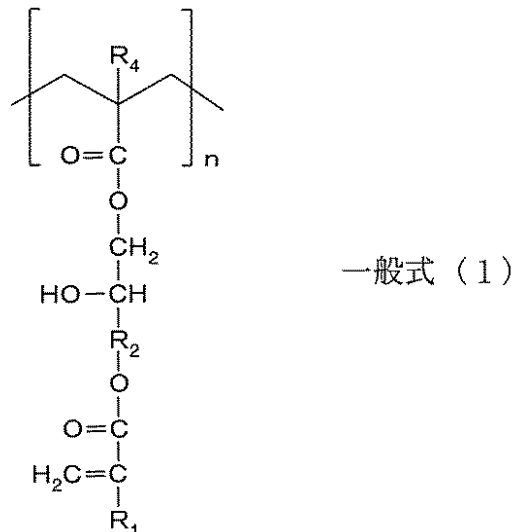
【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【化 1】



【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

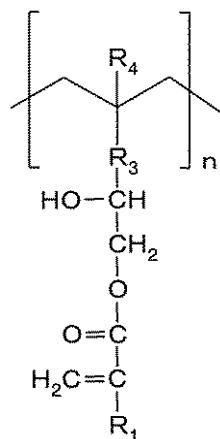
【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【化2】



一般式(2)

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

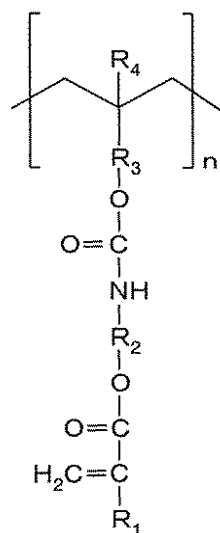
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化3】



一般式(3)

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

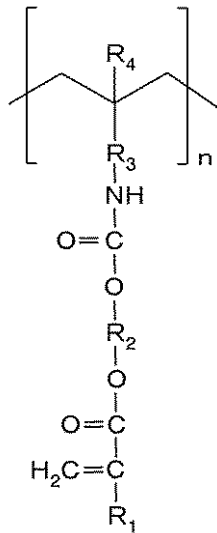
【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【化 4】



一般式 (4)

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

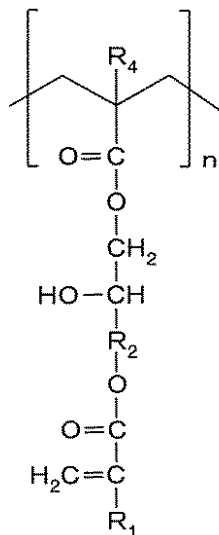
【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【化 5】



一般式 (1)

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

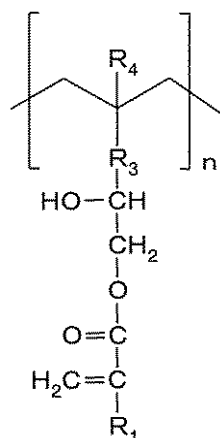
【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【化 6】



一般式 (2)

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

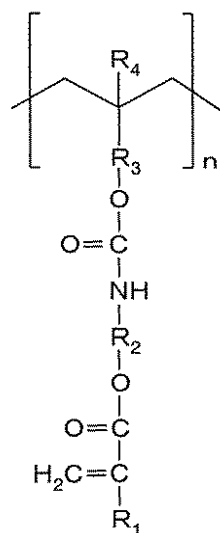
【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

【化 7】



一般式 (3)

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

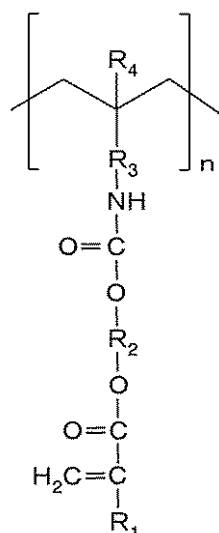
【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

【化 8】



一般式 (4)

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

グリシジル基含有エチレン性不飽和単量体としては、グリシジルアクリレート、グリシジルメタクリレート、メチルグリシジルアクリレート、メチルグリシジルメタクリレート、3,4-エポキシシクロヘキシルメチルアクリレート、3,4-エポキシシクロヘキシルメチルメタクリレートなどが挙げられる。これらの中でも、グリシジル(メタ)アクリレートが好ましい。これらのグリシジル基含有エチレン性不飽和単量体は、1種を単独で使用してもよいし、2種以上を組み合わせ使用してもよい。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

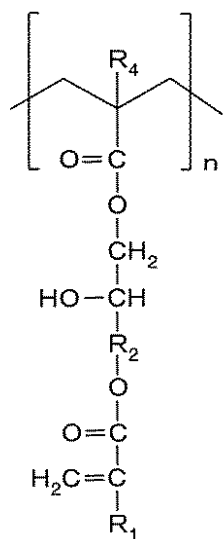
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

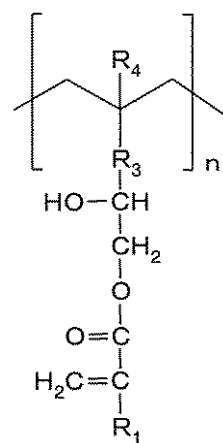
(A) 下記一般式(1)～(4)で表される化合物から選ばれる少なくとも1種の(メタ)アクリロイル基を有する(メタ)アクリル系共重合樹脂、(B)ジペンタエリスリトールヘキサアクリレート及び(C)光重合開始剤を含有することを特徴とする活性エネルギー線硬化性ハードコート剤組成物。

【化 1】



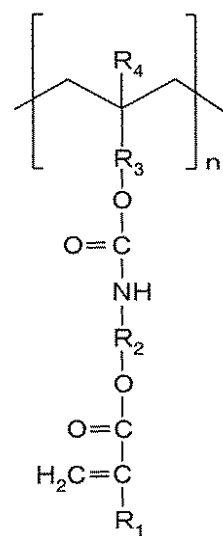
一般式 (1)

【化 2】



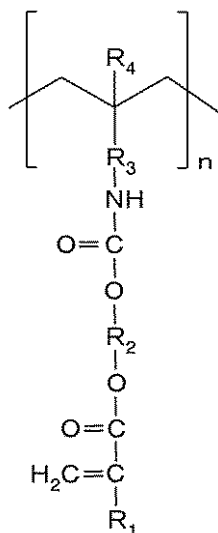
一般式 (2)

【化 3】



一般式 (3)

【化 4】



一般式 (4)

(式中、 R_1 及び R_4 は、それぞれ独立して、水素またはメチル基であり、 R_2 及び R_3 は、それぞれ独立して、1～20個の炭素原子を有する脂肪族炭化水素基または環状構造を有する脂環族炭化水素基であり、 n は、10～500の数である)

【請求項 2】

前記(A)成分が、400～5,000の二重結合当量、60～100のガラス転移温度及び50,000～200,000の重量平均分子量を有する(メタ)アクリル系共重合樹脂であることを特徴とする請求項1に記載の活性エネルギー線硬化性ハードコート剤組成物。

【請求項 3】

前記(A)成分と前記(B)成分との質量比が20：80～50：50の範囲であることを特徴とする請求項1または2に記載の活性エネルギー線硬化性ハードコート剤組成物。

【請求項 4】

前記(C)成分が、前記(A)成分と前記(B)成分との合計100質量部に対して、2質量部～10質量部含有されることを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載の活性エネルギー線硬化性ハードコート剤組成物。

【請求項 5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の活性エネルギー線硬化性ハードコート剤組成物に活性エネルギー線を照射することにより得られることを特徴とする硬化塗膜。